

2023年 第22週（5月29日～6月4日）の感染症発生動向調査情報

<今週の内容>

- 1 新型コロナウイルス感染症について
- 2 管内の感染症発生状況（新型コロナ以外のもの）
- 3 県内の感染症発生状況（麻疹、重症熱性血小板減少症候群（SFTS））
- 3 インフルエンザについて

1 新型コロナウイルス感染症について

管内では、定点あたり報告数は今週2.67人（先週2.67人）で先週から横ばいでしたが、兵庫県内の定点あたり報告数は今週2.89人（先週2.36人）となり、先週から増加しました。地域別では、福崎保健所管内が9.50人と最も多く、加古川保健所管内5.64人、赤穂保健所管内5.17人となっています。年齢別においては、10歳代が20%と最も多く、次に50歳代が12%、5歳～9歳が11%となっています。

新型コロナウイルス感染症は5類に移行しましたが、ウイルスの感染力や病原性は以前と同じです。引き続き3密（密接、密集、密閉）の回避、手洗いや手指消毒、効果的な換気、マスクの適切な着用など、自主的な感染症対策をお願いします。

注）2023年5月8日から新型コロナウイルス感染症は定点把握になりました。

詳細はこちら

[兵庫県／令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症が5類に移行しました](#)

[兵庫県／5類移行に伴う県民の皆様へお知らせとお願い](#)

[兵庫県／5類移行に伴う医療提供体制について](#)

[兵庫県／5類移行に伴う主な事業等の取扱い](#)

<新型コロナウイルス感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[兵庫県／新型コロナウイルスの感染者の状況及び感染動向の指標](#)

[兵庫県感染症情報センター](#)

◆厚生労働省ホームページ

[新型コロナウイルス感染症について](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[新型コロナウイルス（COVID-19）関連情報ページ](#)

2 管内の感染症発生状況（新型コロナ以外のもの）

(1) 管内の全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症）

第22週は、報告がありませんでした。

(2) 定点把握感染症（指定された医療機関から報告を求める感染症）

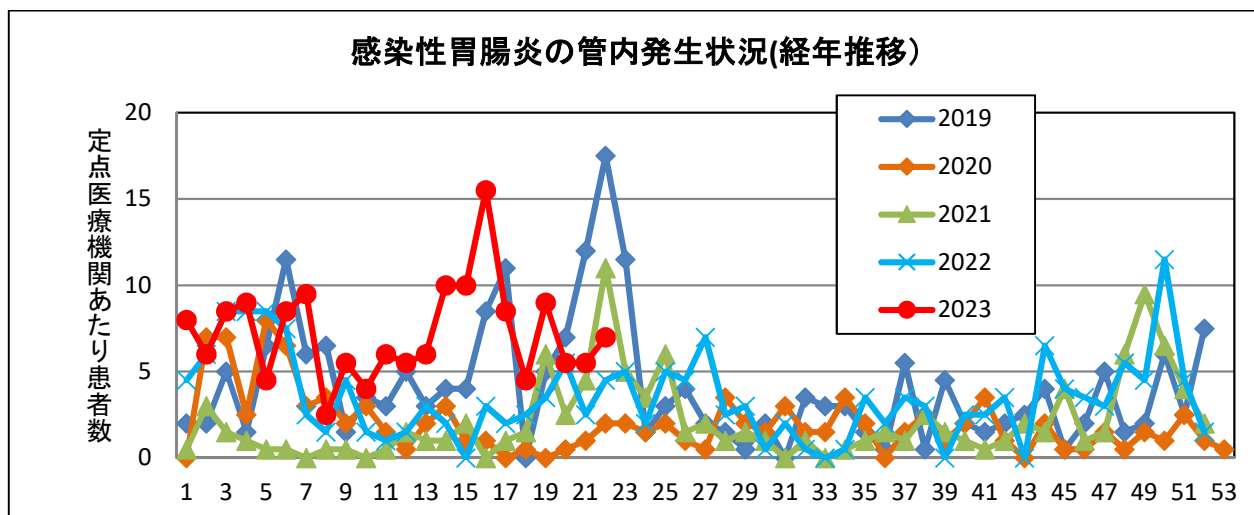
（2023年22週）※定当：定点あたり患者数

インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		COVID-19	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
4	1.33	-	-	-	-	-	-	14	7	-	-	2	1	-	-	-	-	8	2.67

ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎4(ロタウイルス)	
報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当	報告	定当
1	0.5	1	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

管内では、感染性胃腸炎が定点あたり患者数7.0名で、先週（5.5名）から増加しましたが、兵庫県では7.4名で、先週（8.1名）から減少しました。

トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗うようにしてください。また、便や嘔吐物を処理する際は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は石けんと流水で十分に手を洗ってください。カキなどの二枚貝を調理する際は、中心部まで十分に加熱してください。



<感染症に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[兵庫県感染症情報センター](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[感染性胃腸炎とは](#)

3 県内の感染症発生状況（麻しん、重症熱性血小板減少症候群（SFTS））

(1) 麻しん

令和5年5月に入り、全国で麻しん患者の届出が増加しており、兵庫県内（尼崎市）でも麻しん患者の2例目が確認されました。当該患者は5月20日に発症し、5月30日のPCR検査等を経て陽性が確定しました。5月27日まで阪神間での公共交通機関の利用を含めた行動歴があり、3週間後の6月17日頃まで新たな患者発生の可能性があります。麻しんに感染すると、約

10～12日の潜伏期間の後、発熱、発疹等の症状が現れます。また、感染力が強く空気感染するため手洗いやマスクでは十分に予防できません。予防接種を受けたことがなく、麻疹にかかったことがない人はワクチン接種を検討しましょう。麻しん患者と接触した可能性があり、麻しんを疑う症状が出現した際には医療機関に事前連絡の上、公共交通機関の利用を避けて受診してください。また、医療機関におかれましては、臨床症状等から麻しんを疑う場合は、直ちに保健所にご連絡いただきますようお願いいたします。

<麻しんに関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[麻しん\(はしか\)について](#)

◆厚生労働省ホームページ

[麻しんについて](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[麻疹とは](#)

(2) 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

県内での感染が疑われる重症熱性血小板減少症候群(以下、SFTS)の患者1名が5月31日に加東健康福祉事務所管内で確認されました。SFTSは、主にSFTSウイルスを保有するマダニに咬まれることで感染します。マダニは春から秋にかけて活動期であることから、草むらや藪などマダニが多く生息する場所に入る場合には、マダニに咬まれないよう長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用して肌の露出を少なくするなど、感染予防策をお願いします。

なお、SFTSは、人から人への感染はほとんどありません。

<重症熱性血小板減少症候群(SFTS)に関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[重症熱性血小板減少症候群\(SFTS\)患者の発生](#)

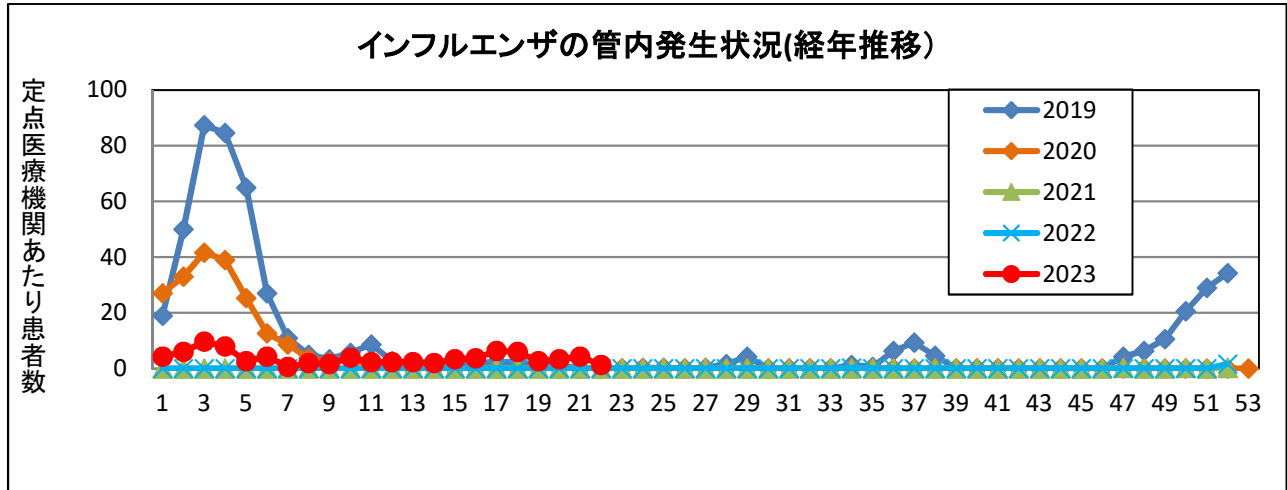
[マダニに注意!ダニ媒介感染症について](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[重症熱性血小板減少症候群\(SFTS\)とは](#)

4 インフルエンザについて

管内のインフルエンザの定点あたり患者数は、今週1.3人(先週4.3人)と減少し、県内の定点あたり患者数は、今週1.18人(先週1.67人)と減少しました。感染防止対策は新型コロナ対策と共通していますので、感染拡大を防ぐためにも引き続き基本的な感染対策をお願いします。また、感染が疑われる場合は早めの受診が重要です。



<インフルエンザに関する情報>

◆兵庫県ホームページ

[インフルエンザ疾患の発生状況\(学級閉鎖・集団発生\)](#)

[兵庫県インフルエンザ情報センター](#)

◆国立感染症研究所ホームページ

[インフルエンザ](#)